

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【公開番号】特開2003-230722(P2003-230722A)

【公開日】平成15年8月19日(2003.8.19)

【出願番号】特願2002-31815(P2002-31815)

【国際特許分類第7版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 E

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月7日(2005.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の契機に基づき、特定遊技状態を導出するか否かを判定するとともに、前記特定遊技状態を導出する判定がなされた場合には、所定時間後に実際に特定遊技状態を導出する特定遊技状態導出手段と、

所定条件が成立した場合に、所定数の遊技媒体を払い出す遊技媒体払出手段とを備えた遊技機であって、

前記特定遊技状態を導出する判定がなされた後には、該判定がなされる前に比べて、前記遊技媒体払出手段によって払い出される遊技媒体の払出態様を異ならせる払出制御手段を設けたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記払出制御手段は、前記特定遊技状態を導出する判定がなされた後には、該判定がなされる前に比べて、前記遊技媒体払出手段によって払い出される複数の所定数の遊技媒体の払出速度を変更することで払出態様を異ならせるものであることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記払出制御手段は、前記特定遊技状態を導出する判定がなされた後には、該判定がなされる前に比べて、前記遊技媒体払出手段によって払い出される遊技媒体の払出タイミングを変更することで払出態様を異ならせるものであることを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

手段17によれば、前記特定遊技状態を導出する判定がなされた後には、該判定がなされる前に比べて、遊技媒体払出手段によって払い出される遊技媒体の払出タイミングが遅くされる。このため、遊技媒体払出手段の作動タイミングを遅らせるだけで、上記各作用効果が奏される。そのため、構造、制御内容の複雑化を防止することができる。

